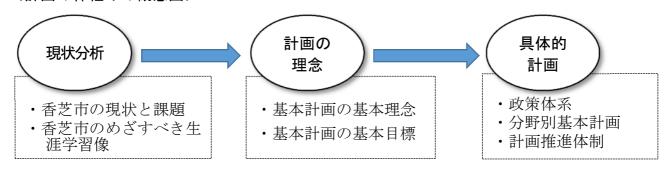
第2次 香芝市生涯学習推進基本計画の基本的構成について (案)

I 計画の基本的枠組み

項目	記載内容
1. 生涯学習推進基本計画について	・生涯学習についての基本的考え方
	・生涯学習についての基本的な位置づけ
2. 生涯学習推進基本計画策定に向	・市民ニーズの動向
けての現状と課題	・人口動向
	・香芝市の生涯学習の現状(第1次計画の進行状
	況・各地区ごとの分析)
	・生涯学習推進にあたっての課題
3. 生涯学習推進基本計画の策定に	・基本計画策定の背景
ついて	・基本計画策定において実現すべき目標
4. 生涯学習推進基本計画の基本的	・基本計画の基本理念
事項	・基本計画の基本目標
	• 計画期間
5. 政策体系	・基本理念→基本目標→具体的取組の体系図
	・基本計画実現のための概念図
	・重点事業・主要事業
6. 分野別基本計画	・基本目標別の具体的取組内容
7. 生涯学習推進基本計画推進のた	・基本計画の推進体制
めの体制	・基本計画の評価

<計画の枠組みの概念図>



Ⅱ 計画の具体的構成

1 生涯学習推進基本計画について

(1) 生涯学習についての基本的考え方

生涯学習計画は、生涯学習振興法(生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律・平成2年(1990年))成立の前後から90年代半ばにかけて、多くの自治体で策定されました。このような時期に策定された「香芝市生涯学習推進基本計画」は、生涯学習政策の理念に基づき、それを地域に具現化するといった性格の計画であったと考えます。

その後 10 年という長期計画の期間を終了し、次期の新たな生涯学習計画が必要とされています。そこでは、この間の行政における生涯学習の位置づけの相対的変化もあり、現実的に地域の発展にとって意味のある端的に言えば「役に立つ」生涯学習が求められています。

地域における生涯学習活動も、当初の「自己実現」や「仲間づくり」を重視したものから、学んだことを地域に活かすこと、地域づくりにかかわる学習が重視されています。それらをいかに生涯学習計画の中に位置づけ、発展をさせるかが実践的課題となっています。

そのため、一般的な生涯学習活動を超えて、地域課題に取り組み、実際に地域づくり活動を進めていくことができるような「地域をつくる学び」の展開が必要となっており、これらの考え方をもった生涯学習計画を目指していくことが必要と考えます。

(2) 生涯学習についての基本的位置づけ

これからの生涯学習推進基本計画は、「地域で人々が心豊かに暮らすことができる環境づくり」を目指すものであるということができます。そのためには、教育政策のみならず、まちづくり各分野との連携のもと、総合的な市民の暮らし環境の向上を目指す視点が必要となってきます。その視点として次の2点があげられます。

① 総合化

まちづくりの最上位計画である総合計画のほか、地域福祉計画、障害者福祉計画、 高齢者福祉計画、児童福祉計画及び環境基本計画等の各分野計画が策定されています。 したがって、既存の各分野の計画との整合性を図りながら、生涯学習の視点からまち づくり各分野の総合化を推進していく役割が求められています。

②市民参加

各種法令の中には、計画の策定が市民参加によってなされるべきことが明記されている場合もあります。本市が目指す市民協働のまちづくりにおいては、計画づくりでの市民参加は欠かすことができないと考えます。

以上のような考え方に立った今日の生涯学習計画として位置づけをしていく必要 があると考えます。

2 第2次香芝市生涯学習推進基本計画策定に向けての現状と課題

(1) 市民ニーズの動向

総合計画アンケート、生涯学習に関する市民アンケートの結果や、生涯学習推進基本計画策定作業部会、社会教育関係団体懇話会で出されたご意見から、市民ニーズの動向として、次のようなことがあげられます。

○市民の日常生活及び全体の住み良さについて

- ・市民アンケートの結果では、全体としての住み良さについては、高い評価となっています。
- ・一方で、市民の日常生活の悩みや不安では、健康、老後のこと、経済的なこと、子育てなどが多くなっています。
- ・また、地域の課題としては、まちの安全や住みやすさ、高齢者の生活支援、住 民同士の交流が多くあげられています。

〇子育て支援について

・子育ての環境については、比較的高い評価があるものの、香芝市では年少人口 が増加しているという際立った特徴があり、「子育て」「教育」などに重点的に 取組んでいく必要があります。

○市民と行政の協働について

- ・行政との関係において、地域住民は単に受益者のみに留まらず、福祉や教育課題においては、住民自身の取組みも重要であるとの意識が高まっている傾向が見られます。
- ・今後は、まちづくりや市民活動の中での学び、まちづくり活動の相互的機能、 つまり、まちづくりをすることが学びになり、その成果が社会参加になるとい う相互的な機能が、生涯学習を進める一つの視点になります。
- ・市民協働を進めるために、行政には、様々な市民の活動をつないでいく支援が 求められます。また、生涯学習では、行政の縦割りを乗り越えて総合的な形で 進めることが求められます。

○地域コミュニティについて

- ・近隣関係の重要性については、多くの市民が理解しており、近所で助け合う体制が構築されています。
- ・地域における生涯学習活動も当初の「自己実現」や「仲間づくり」を重視した ものから学んだことを地域に活かすこと、地域づくりにかかわる学習が重視さ れています。現実的に地域の発展にとって意味のある「役に立つ」生涯学習が 求められています。
- ・地域課題に取り組み、実際に地域づくり活動を進めていくことができるような 「地域をつくる学び」の展開が必要となっています。生涯学習について、地域 を核にして、横につながっていくことが必要になります。

・地域の教育力向上のためには、学校、家庭、地域がそれぞれ教育力の向上を図ることと同時に企業等の各種団体がそれぞれ期待される役割を果たしつつ、緊密に連携・協力して地域課題を共有し、課題解決に取り組むことが重要です。

○防災・防犯について

・地域での安全・安心な生活を保障していく上においても、防災・防犯は重要課題といえます。特に、子どもの安全面への関心の高まりがうかがえます。

○都市環境について

・高齢者・障がい者にとっての外出しやすい環境を進めていく上においても、都 市環境のバリアフリー化は重要です。

(2)人口動向

香芝市は、全国的にも若い人の増加が続いており、今後もその増加率は鈍化が予測されるものの、一定程度の増加率は予測されています。

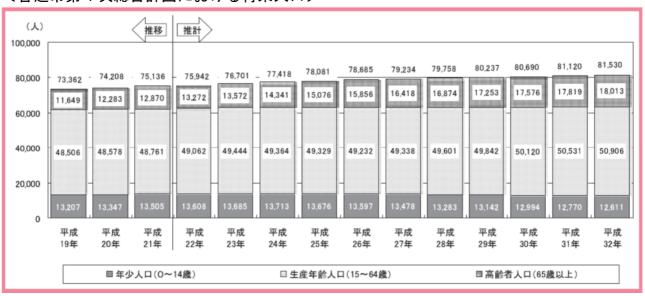
また、市全体としては、若いまちであるといえますが、人口の年齢区分は、小学校 区別でも大きな差異があります。

市民の就業状況としては、市外へ通勤している人が、多くを占めています。

〇 人口

- ・一貫して人口増加が続いてきましが、近い将来には鈍化傾向が予測されます。
- ・年少人口の増加と高齢者人口の増加がみられます。我が国全体の傾向と比較すると非常に若いまちであると言えます。
- ・ただし、今後は急激な高齢化が進展する可能性があります。

<香芝市第4次総合計画における将来人口>



〇就業状況

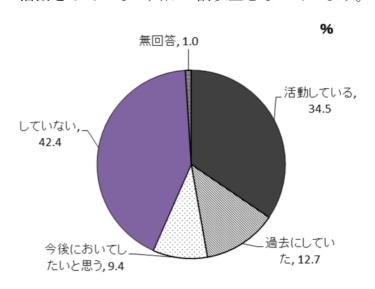
- ・昼夜間人口比率が県内比率と比較しても低いと言えます。
- ・昼間、大阪府で働き、夜間に香芝市に帰る就業者が多く、他自治体からの就業 者は少ないと言えます。

(3) 香芝市の生涯学習の現状

生涯学習に関する市民アンケートの結果から、香芝市の生涯学習の現状として、次のようなことがあげられます。

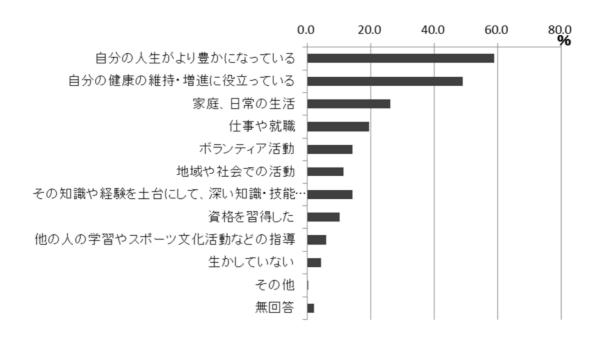
〇生涯学習に関する活動状況

- ・生涯学習に関する活動をしている人は5割弱となっています。
- ・生涯学習に関する活動をしている人は、「今後においてしたいと思う」を合わせると 50%を上まわっていますが、していない人が 40%以上で多数を占めています。
- ・スポーツ・レクリエーション活動をしていない人は4割以上となっています。



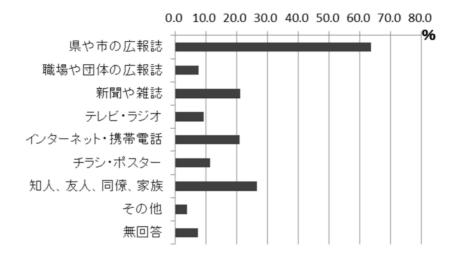
〇生涯学習の目的と成果

- ・生涯学習は、自分の人生をより豊かにし、自分の健康の維持・増進に役立って いるといえます。
- ・生涯学習に関する活動を行う目的や動機は、「趣味や興味を広げ、生きがいを もつため」が最も多く、次いで「健康・体力づくりのため」でした。
- ・生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験をどのように生かしているかは、「自分の人生がより豊かになっている」が最も多く、次いで「自分の健康の維持・増進に役立っている」でした。



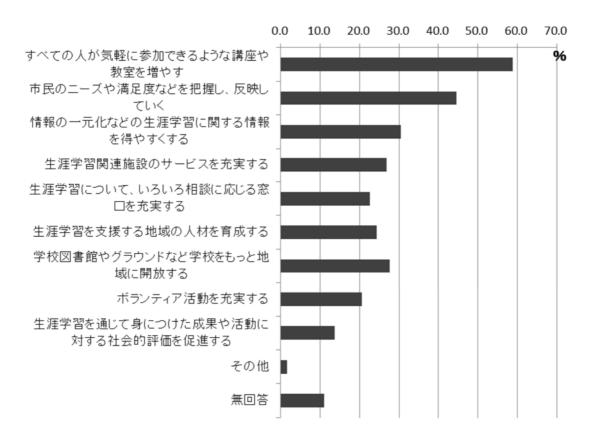
○生涯学習に関する情報

- ・生涯学習の情報源として行政からの情報提供の役割は大きくなっています。
- ・生涯学習の情報源は、「県や市の広報誌」が6割強で最も多く、次いで「知 人、友人、同僚、家族」、「新聞や雑誌」、「インターネット・携帯電話」と続い ています。



〇市が力を入れるべき生涯学習の取り組み

- ・今後市が力を入れるべきことは、「気軽に参加できるような講座や教室」「市民 のニーズや満足度の把握と反映」「生涯学習に関する情報を得やすくするこ と」。
- ・今後、市民の「生涯学習」をもっと盛んにしていくために、市として力を入れるべきことは、「すべての人が気軽に参加できるような講座や教室を増やす」が最も多く、次いで「市民のニーズや満足度などを把握し、反映していく」「情報の一元化などの生涯学習に関する情報を得やすくする」でした。



(4) 生涯学習推進にあたっての課題

第2次生涯学習推進基本計画に向けた、香芝市の生涯学習の課題を整理します。

①生涯にわたって学べる環境づくり

新たな学習者の掘り起こしを進めるとともに、人生の成長過程に応じた幅広い学習プログラムを提供し、市民にニーズに対応した学習と社会的な課題を取扱った学習のバランスを保ちつつ、様々な学習機会の提供と充実と図っていかなければなりません。

また、市民に市政に関する理解を深めていただくことがもっと必要であり、かつ、地域の課題等を行政と市民等が一体となって考える機会をつくり、「協働」のまちづくりを推進していくためにも「生涯学習出前講座」に係る事業において全庁的な体制づくりの中で、公益法人や公共機関また民間企業、NPO等による連携で様々な講座を取り入れ、より一層の生涯学習メニューの拡充に努めていく必要があります。

②家庭教育の支援づくり

家庭の教育力を高めるため、家庭教育の自主制を尊重しつつ、親として自信を持って子育てが出き、社会と一体となった愛情あふれる家庭教育を目指し、本市の家庭教育の基盤となっている各小学校単位での家庭教育学級の学級生の充実と支援体制のより一層の充実が必要です。

また、子育てに関する悩みや不安を共有できたり、親同士や親子がふれあえる交流の場を増やすとともに、学びを通じて親同士の仲間づくりを推進しなければならないと考えます。

さらに、家庭教育の充実のためには、社会全体で子育てや子どもの見守りについて、 ともに考え行動していくことが大切です。そにため、学校、家庭、地域が一体となって 様々な家庭教育の支援を行う、環境整備を促進させなければなりません。

③公民館等機能の充実

新たな学習者の掘り起こしを進めていくため、公民館をはじめ、市民図書館等の生涯 学習施設の連携を深め、利用の促進が図れる連携体制が必要です。

特に公民館については、地域住民の学習ニーズに対応した講座や社会の要請が高い学習機会を提供する必要があります。そのことによって学習活動の一層の活性化と学習成果を生かすことができるよう社会教育の推進が図れるものと考えます。

また、度重なる自然災害を期に、安心・安全な地域づくりや人と地域のつながりの重要性が益々高まっています。これらを踏まえて、各地域の社会資源でもある公民館や集会所が地域におけるネットワークづくりのコーディネートを行い、これまで以上に多様な人々との新たな絆と地域との関わりを深め、人と組織を結ぶ、地域づくりの拠点施設としての役割を担っていくことになると考えられます。

④学習、活用情報提供システムや相談体制の整備と充実

生涯学習に関する情報を一元的に集約して整理し、市民が学ぶことや学んだ成果を生かすことに関する、必要な情報をタイムリーに得られる環境をつくるために、学習・活

用情報提供システムといったものを構築していく必要があります。

また、紙媒体による情報提供の充実を一層図るため、例えば公民館だよりの発行に努め、生涯学習に関するニュースレターを定期的に発行していくことも考えられます。

さらに、情報社会に対応するため、若年層の情報提供の主流となっているホームページや配信サービス等、多様な手段により、効果的な情報発信を行っていく必要があります。そしてまた、講座やイベント、講師、学習成果を生かす場等、市の生涯学習関連情報について、市民が最も適した選択をすることができるような相談体制の整備に努めていく必要があります。

⑤学習成果を生かす環境づくり

市民一人ひとりの学習を発展させるために、学校や生涯学習施設等で市民が学習を通して交流したり、学習成果を他者に伝え、教え、互いに学び合うことで市民が自らの学習成果を十分に生かせる機会の場の創出に努めなければなりません。

また、香芝の歴史や文化、自然など地域の魅力や市民生活に密着した課題について専門的に学び、その成果を地域や社会に還元できる人材を育成することを目指した、「かしば市民学校(大学)」といった構想も考えていく必要があります。

⑥全庁的な生涯学習推進体制の強化

行政各分野において、生涯学習を総合行政として、より一層推進していくために、生涯学習・推進本部の体制について未整備であることから、組織体制を整えていくことが大前提となります。また、生涯学習のまちづくり、人づくりを進め、生涯学習都市を目指していくことも考えていく必要があります。

さらに、生涯学習関連に係る、様々な各種事業の活動支援を図るとともに、生涯学習の推進母体となっている社会教育関係団体等への支援強化を進め、市民の自主性、主体的な学習活動を推進していく必要があります。

⑦地域コミュニティの再構築

本市では、人口増加が続き、急激な都市化の進展という状況もあり、それに加えて 核家族化、少子高齢化などにより、住民同士の交流や助け合いが少なくなり、子育て、 福祉、介護、安全など、これまで住民同士が助け合って解決してきた問題への対応がむ ずかしくなってきています。

核家族化・単身化へと家族の構成が変化する中で、これまで家族が担ってきた子育て や介護などの機能を、もはや家族だけでは担うことができなくなっています。

一方、地域コミュニティの希薄化により、住民の連帯感や自治意識が低下しているといった状況が見られます。このため、従来から地域を担っている自治会に加えて、近年増えているボランティアやNPO活動など、地域の課題を地域で解決できる新しいコミュニティを構築していくことが必要です。

3 生涯学習推進基本計画の策定について

(1) 基本計画策定の背景

①多様化する生涯学習ニーズ

香芝市は、全国でも有数の人口増加を続けているまちです。特に、近年は我が国全体の傾向とは異なり、年々人口の増加が続いています。その一方で、人口の高齢化も着実に進んでいます。

香芝市では、年少人口と高齢者人口の増加という状況にあり、市民の皆さんの生涯 学習ニーズも多種多様化していることから、これに対応した総合的な生涯学習政策の 構築が必要となっています。

②新たなまちづくり政策の方向性

香芝市でも、非常に厳しい財政状況が続いています。社会教育の各分野では、それぞれの対象者が増加しており、社会教育の経費も年々増加傾向になっていくものと考えられます。さらに、香芝市の場合は、急激な人口増加に対応した都市づくりも、なお必要であり、これらのバランスをとりながら、市民ニーズを踏まえた新たなまちづくりを進めていくことが必要となっています。

③市民協働意識の高まり

これからのまちづくりには、行政だけが主導するのではなく、市民参画と市民協働が強く求められています。特に今後、地方分権の歩みが一層進捗することが予測され、その中では、各地方自治体には自己決定・自己責任による自律した行財政運営が求められます。

香芝市では、大阪都市圏のベットタウンという性格が色濃く、いわゆる団塊の世代の大量退職により、地域を中心とする生活に転換していく人が増えていくことも予測されます。

今後、まちの総合的な活力を生み出していくためには、香芝市という地域において 多くの市民の皆さんが様々な形で活動していくことが必要です。そういう意味から、 基本計画策定においては「地域型の生涯学習」の考え方が基本となるものと考えます。

④地域型生涯学習を基盤としたまちづくりの必要性

今後は、人口増加に対応した都市基盤整備から一定の政策転換、つまり成長拡大から成熟安定の都市への転換が必要になると考えられます。今後の香芝市のまちづくりの方向性としては、市民の住み良さ、暮らしやすさを重視する必要があります。

そのために、教育、福祉、環境など、市民の身近な生活課題への対応が今後も求められます。そこで、地域型生涯学習を基盤とした、まちづくりを推進していく生涯学習推進基本計画の策定が必要と考えます。

(2) 基本計画策定において実現すべき目標

第2次香芝市生涯学習推進基本計画の策定においては、つぎのことを目指します。

① まちづくりを見据えた生涯学習計画

香芝市は、大阪都市圏の近郊住宅都市として、人口増加を背景に、成長発展を続けてきましたが、全国的に人口減少時代が本格化する中で、これまでのような成長発展は、今後は望めなくなると予測されます。その一方で、人口減少時代の到来とともに、人口の都心回帰現象も起こりつつあると言われています。そのような中で新たなまちの発展の方向性を見出していかなければなりません。

今日までの香芝市の人口増加は、「交通利便性」「緑豊かな自然」という要素に支えられてきたという面が強いのではないかと考えられます。今後は、「真の住み良さ」「日常生活の快適性」「豊かさ」が求められ、それによって、さらに人を引き付けることのできるまちになると考えます。人々が生き生きと暮らし、それぞれの個性にあった能力を最大限に生かすことのできる環境づくりが、都市の活性化につながっていくと考えられます。

このような背景の下、香芝市では、市の総合計画と整合性を図りながら、第2次生涯学習推進基本計画の策定を進めていくことになります。この基本計画策定においては、生涯学習を通じて市民生活の質の向上を図ることによって、新たな市の発展を目指していく必要があります。

現在の香芝市の特長として、子育て世代が多く集い、その政策への関心が高いという傾向があります。一方で、誰もが経験することになる老後に向けての不安を抱えている人も多くなっています。人口増加という際立った特長を持つ香芝市において、この香芝の地を住む場所として選ばれた多くの市民には、地域で学ぶ学習が今、求められているのではないかと考えます。

このようなことから、地域型生涯学習を基盤とした、まちづくりを推進していく生涯学習推進基本計画を目指します。

②人づくりとしての生涯学習計画

地方分権が本格化し、地方自治体独自で政策を形成していくことが求められています。今後、地方自治体には、地域住民の声を幅広く聞き、住民参画による政策推進体制を構築していくことが必要とされます。

そして、その政策の推進に当たっては、行政だけでなく、地域住民、企業、NPOボランティア団体、大学などが様々な形で連携・協働により、進めていくことが求められています。そのためには地域の様々な人的資源を活用していくことが求められます。市民には、公共サービスを受けるだけではなくサービスの担い手としての役割が、行政は、サービスを直接実施するのではなく、多様な主体と連携して進めていく役割が求められます。

これからは、生涯学習を推進するには、地域住民の参加が前提となります。地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化、その他あら

ゆる分野の活動に参加する機会が与えられるように、生涯学習の推進に努めなければなりません。生涯学習推進基本計画を通して、市民協働・参画による生涯学習を実践していくことが求められています。

しかしながら、香芝市においても近隣関係の希薄化が進みつつあると言われています。地域型生涯学習の理念の実現を目指すための体制づくりが、新たな地域コミュニティの形成に結びつくと考えます。

また、香芝市では、転入者が多く、大阪都市圏への通勤通学者が人口の多くを占めていることから、市民の生活スタイルにも変化がみられます。地域型生涯学習という理念を実現していくことによって、このような市民の香芝のまちづくり活動への参加をさらに進めることができると考えます。

既往の香芝市の市民意識調査では、住んでいる地域への愛着、住み良さという点では、高い評価がみられます。これからはこの市民の力を、様々な形で生かしていくことが、香芝市全体としての新たなまちの活性化につながると考えます。今、求められていることは、地域住民の意思で新たなまちの未来を切り開いていくことです。

この第2次生涯学習推進基本計画策定の中で、住民合意を得て、その政策を推進していくことによって、あらたな地域の自治体の体制整備を目指します。

4 生涯学習推進基本計画の基本的事項

(1)計画の基本理念

香芝市としてのめざすべき生涯学習都市像をあらわす本計画の基本理念については、 次のように考えます。

○ 教育基本法第3条に位置づけされている理念

「国民一人一人が自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるようその生涯にわたって、あらゆる機会にあらゆる場所において学習することができその成果を適切に生かすことができる社会の実現を図らなければなりません。

〇 第4次総合計画に沿って生涯学習部門を担うため、香芝市第4次総合計画の将来 像を実現するための理念を定める

これからの変化の激しい社会にあっては、生涯を通じて自己を磨き、高めていくことが一層重要になります。

そのためには、市民一人ひとりが個人の発達段階やそのとき置かれている状況等を踏まえつつ、だれもが若者から高齢者まで生涯を通じて質の高い教育や学習に取り組み、その成果を地域で生かすことができる社会の実現を目指す必要があることから、「一人ひとりが学びを深め、互いに成果を生かし合い、共に"地域"で活すまちかしば」

一人ひとりか字ひを深め、互いに成果を生かし言い、共に" 地域 " で活りまらかしは」 を基本計画の基本理念として設定していくことが考えられます。

基本理念

一人ひとりが学びを深め

互いに成果を生かし合い

共に"地域"で活すまち かしば

一人ひとりが個人として自立し、常にその能力を磨きながら健康で充実した人生を実現できるよう、一人ひとりの生涯にわたる学びを支援し、充実させるとともに、その成果生かして地域への還元・社会貢献や新たな挑戦が出来るよう、学びを通した交流と成果の還元を支援し学びの循環を図ります。

(2)計画の基本目標

計画の基本目標は、基本理念達成のためのめざすべき目標として設定します。

基本目標

ライフステージに対応する学習機会の提供と成果を生かす環境づくり

〈施策〉学校教育の充実

社会教育における学習機会の充実強化

芸術・文化イベント等の振興

生涯スポーツの推進

生涯学習の普及啓発

学習成果の評価制度の推進

子どもと大人が育ちあう、子育てしやすい環境づくり

〈施策〉家庭教育機能の充実

子育て相談活動の充実

家庭・学校・地域の連携強化

学びの情報をだれもが得られる環境づくり

〈施策〉情報収集・発信システムの構築 生涯学習の相談窓口の体制づくり

市民と行政の協働(協育)による生涯学習のまちづくり

〈施策〉協働による地域活動の活性化 地域コミュニティの再構築 人材養成と活動支援の仕組みづくり NPO、民間団体等との協働による生涯学習の推進

市民と行政が生涯学習を推進する体制づくり

(施策) 生涯学習推進本部の充実生涯学習推進担当の体制整備生涯学習推進する市民組織づくりと市民活動の支援

(3)計画期間

計画期間は、5年間とします

5 政策体系

「基本理念」「基本目標」「具体的取り組み」について、ツリー図で表します。 **〈体系図〉** 別紙

第2次香芝市生涯学習推進基本計画における重点事業・主要事業を記載します。

≪重点事業・主要事業≫

社会の急激な変化により、常に新しい知識や技能を身に付けなければならないという状況の下、市民の多様化・高度化した学習ニーズに的確に対応するため、だれでも、いつでも、どこでも、興味や必要に応じて学ぶことができる環境づくりが求められています。

また、小子化や核家族化、価値観やライフスタイルの変化、地域における人間関係の希薄化など、家族や地域を取り巻く環境が変化し、地域や社会全体で親や子どもの学びや育ちを支える機会の減少が指摘されています。

具体的には、例えば、子どもと大人が育ちあう場をつくるという課題、家庭教育の課題、地域における学習活動の拠点としての文化・生涯学習施設の課題などがあり、これらの課題解決に向けて取り組みを進めます。

その中でも、重要性の高い、子どもと大人が育ちあう場をつくるという課題(地域と連携した生涯学習の充実)、家庭教育の課題(家庭の教育力の充実)への取組みについて、重点施策(事業)として位置づけます。

これらの2つの課題に重点的に取り組むことにより、だれでも、いつでも、どこでも、 興味や必要に応じて学ぶことができる環境づくりを進め、生涯学習に取り組んだ市民が、 学習の成果を活かして活動することにより、地域や家族の教育力の向上を図ることができ る環境づくりを進めます。

|1.地域と連携した生涯学習の充実〈子どもと大人が育ちあう場の充実〉|

人間関係の希薄化に伴う地域の教育力の低下や青少年が直面する問題の深刻化などが進む中、子どもたちの安全・安心な居場所づくりや、青少年の社会活動・スポーツに親しむ機会の充実など、地域全体で子どもたちを守り育てていく環境の整備が求められています。

しかし、これまでの行政主導型の取組みでは、子どもたちが直面する諸課題に十分な対応ができないことから、地域の教育力を向上させ、「地域の子どもは地域で育てる」という考え方を基本に、子どもたちが社会規範やルールを守る心を身につけ、連帯性・協調性を育むための機会を地域が主体となって提供することが必要です。そのためには、まず、大人が自ら生き方や地域のあり方に関心を持ち、支えあい、学びあう取組が求められます。

生涯学習には、地域の様々な人々が参加することによって、地域住民の交流を深め、 地域での人間関係が形成されるという側面があります。大人同士が学びを通して、育ち あう中で、子どもたちの人間形成の場である「地域コミュニティ」が再生され、子ども が育ちあう環境が育まれます。

<重点的な取組み内容>

- ○子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりのため、子ども たちが学校の内外の安全な居場所において、地域の方々の参画を得て、共に勉強やスポーツ・文化活動・交流活動などを行う放課後子どもプランを促進します。
- ○学校、家庭、地域が一体となって子どもたちの「生きる力」を育むため、地域の住民 が、子どもたちに社会のルールを守る心や規範意識などを育む取組みを支援します。

2. 家庭の教育力の充実〈「親の学び」の場の充実〉

核家族化、地域の人間関係の希薄化が進む中、社会の最小の共同体としての家庭の教育力の低下が指摘されており、家庭での基本的な生活習慣や食生活の乱れ、文字・活字離れ、児童虐待などの様々な問題が発生しています。

「家庭教育はすべての教育の出発点」「子は親を見て育て」と言われますが、子育てについての不安や悩みを持ちながら孤立しがちな親、子育てついて学ぶ余裕のない親、家庭でのしつけのあり方に悩む親など、子どもにとって家庭における「先生」であるはずの親自身に関する課題が多様化しています。

親自身が子どもにとって親はどうあるべきかを考え、子育ての責務やその楽しさについて学ぶことにより、子どもの教育やしつけに関する悩みを解消し、自信を持って家庭教育ができるよう「親の学び」を積極的に支援していく必要があります。また、子どもたちの学習意欲や体力・気力の低下の要因の一つとして、基本的生活習慣の乱れが指摘されている一方で、毎日朝食をとる子どもほど基本的生活習慣と学力・体力の間には強い相関関係のあることが明らかになってきています。

そこで、子どもの生活リズムの改善・基本的生活習慣の定着の重要性と、家庭の果た す役割を再認識するとともに、家庭における生活リズムの向上のための実践を促してい くことが必要となっています。

<重点的な取組み内容>

- ○親の役割や家庭教育について学ぶ機会を提供することで、親の「学び」や「育ち」を 支援します。
- ○地域において、親への支援活動を行う人々の資質向上のために、研修会や講座を開催 し、親への支援の充実につなげます。
- ○家庭教育に関する情報を収集し、発信することで親の「学び」を支援します。
- ○家庭教育に関心の薄い親に対しての啓発を進めます。

6 分野別基本計画

分野別基本計画は、基本目標達成のための具体的取り組みを、それぞれの基本目標ご との現状と課題を設定し、その解決策として具体的に実施していく内容(具体的事業・ 事業内容)を記載します。

具体的取り組みについて、市の取り組み事項及び市民の取り組み事項を記載します。

1. ライフステージに対応する学習機会の提供と成果を生かす環境づくり

具体的取組(施策)

学校教育の充実

具体的取組内容

- ・確かな学力の育成、豊かな心の育成、健やかな心の育成
- ・学校・家庭・地域社会の連携強化事業の推進

社会教育における学習機会の充実強化

具体的取組内容

- ・長寿、福祉社会づくりのための学習課題の整備
- ・地域が抱える課題等についての学習機会の提供

芸術・文化イベント等の振興

具体的取組内容

・交流を生み出す芸術・文化の基盤整備

生涯スポーツの推進

具体的取組内容

・健康づくり、体力づくり、仲間づくりとしてのスポーツ振興の実践強化

生涯学習の普及啓発

具体的取組内容

- ・生涯学習の推進に関する総合的な啓発事業の開催
- ・生涯学習を高揚するイベント等の開催
- ・総合的な啓発事業の開催

学習成果の評価制度の推進

具体的取組内容

・学習成果と評価する制度の創出と活用の推進

2. 子どもと大人が育ちあう、子育てしやすい環境づくり

(子育て・家庭教育の支援)

具体的取組(施策)

家庭教育機能の充実

具体的取組内容

・親同士の学びのネットワークの構築

子育て相談活動の充実

具体的取組内容

・子育て支援体制の整備

家庭・学校・地域の連携強化

具体的取組内容

- ・地域における子育て支援への援助
- ・子ども体験活動の推進
- ・青少年育成の環境浄化活動の促進

3. 学びの情報をだれもが得られる環境づくり

(情報収集・発信、相談体制の推進)

具体的取組(施策)

情報収集・発信システムの構築

具体的取組内容

- ・生涯学習関連情報の収集と提供体制の確立
- ・ 生涯学習ガイド等の推進
- ・メディア等を活用した情報提供の推進

生涯学習の相談窓口の体制づくり

具体的取組内容

・生涯学習活動に関する総合相談窓口の設置

4. 市民と行政の協働(協育)による生涯学習のまちづくり

具体的取組(施策)

協働による地域活動の活性化

具体的取組内容

- ・学習成果を生かした地域づくりへの活用推進(意識を醸成する啓発活動、地域づくり講座の開催)
- ・出前講座のメニュー拡充と指導者の養成

地域コミュニティの再構築

具体的取組内容

・安心安全な防犯、防災活動の推進

人材養成と活動支援の仕組みづくり

具体的取組内容

- ・生涯学習リーダー等の養成と人材バンクの発掘
- ・指導者やボランティアの養成及び人材活用の拡充
- ・社会教育関係団体等の育成支援(公民館のグループ活動の促進、青少年、成人、高齢者団体グループの育成支援)

NPO、民間団体等との協働による生涯学習の推進

具体的取組内容

・NPO等とのネットワークの構築(地域事業への支援)

5. 市民と行政が生涯学習を推進する体制づくり

(生涯学習推進体制の強化)

具体的取組(施策)

生涯学習推進本部の充実

具体的取組内容

生涯学習推進本部の機能の充実

生涯学習推進担当の体制整備

具体的取組内容

- ・行政職員に対する生涯学習の必要性の理解促進
- ・生涯学習推進担当者の配置及び研修の充実

生涯学習推進する市民組織づくりと市民活動の支援

具体的取組内容

- ・市民組織づくりの活動支援
- ・市民の生涯学習活動の役割について啓発活動の推進

必要に応じて、具体的目標数値を設定します。(市民意識調査の満足度・各施策における目標数値などの設定を総合計画との整合性もあわせて検討)

7 生涯学習推進基本計画推進のための体制

基本計画の推進体制として、庁内組織の推進体制等について記載します。

基本計画の進行管理・評価について、数値目標のチエック体制と実施計画の確立について記載します。